

「天声人語」は、「天に声あり、人をして語らしむ」という意味で、庶民の声こそが天の声であるということのようです。このコラムですが、「天声人語書き写しノート」が大変な人気で、年配の人を中心に、取り組んでいる人が多いようです。

私も校長時代に、選択社会科の授業を週1時間持っていて、コラム学習を行っていました。「わくわくコラム」というワークシートを用意し、①本文を読みながら大事なところを蛍光ペンで塗る②漢字の練習③見出しを付ける④本文の大事なところを短くまとめる(要約)⑤意見や感想を30字程度で書かせる、などです。

蛍光ペンで塗りながら読ませるのは、要約をするためと、よく読ませるためです。「よく読みなさい」というだけよりも効果的です。要約することと、意見・感想を短く書かせることがポイントです。自分の言葉で短くすることによって、作文や感想文への抵抗感をなくすことができます。

この程度の活動でしたら、10分間の朝学習で取り組むことができます。書き写してから①～⑤の活動をさせることも時々取り入れてもよいですが、最低でも20分ぐらいの時間が必要になります。

第1面の天声人語のようなコラムは中学生向きです。社会面にもコラムを設けている新聞がありますが、こちらでしたら、小学校4年生以上で取り組むことができます。食べ物や動物を扱ったコラムは小学生向きです。

(鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問)

□